

集え、仲間と
伝えよ、想いを
さらなる高みを目指して
進め女性部



女性部会長 東久保真弓氏



女性部副会長 加藤友美氏



女性部会計 永井愛氏



愛産協副会長・広報編集委員長
中野兼司氏

日時：令和6年4月8日（月）

場所：協会3階会議室

出席者：4名

愛産協 中野兼司副会長（司会）

女性部 東久保真弓会長、加藤友美副会長、
永井 愛会計

中野

令和元年9月5日に女性部の設立総会が開催され今年で5年目を迎えました。愛知県の女性部が設立されて以降、女性部の動きが活発化し全国的に女性部設立の波が広がりました。

そこで5年目の節目として、今一度初心に帰り、未来に向けて何を成すべきかについて、お話ししたいと思います。

では、始めに立ち上げ時におけるエピソードなどありましたらお話しください。

東久保

女性部立ち上げの経緯については、「循環あいち」117号で女性部の想いについて話をしましたが、今思えば、設立される1年半ほど前から私は動き出していたような気がします。

発端は平成30年6月（公社）全国産業資源循環連合会の定時総会で、（一社）東京都産業資源循環協会・女性部『e-Lady21』会長 二木玲子氏と初めて話をさせていただき、東京に女性部があることを知りました。

それを機に、二木会長と連絡を取り合い、同年11月関東地域協議会女性部会主催の女性部の会に参加しました。

対談

愛知県からの参加は私一人でしたが、その集まりで他県女性部の方々から、愛知県女性部設立を期待される声をいただき、全国レベルで女性部発足の気運が高まっていることを実感しました。

中野

最初の女性部の立ち上げの発起人となることについては、どんな思いがありましたか？

東久保

関東地域協議会の女性部へ伺った流れから、愛知県でも女性部を設立しなくてはいけない、と感じました。愛知県がすごく遅れている（女性部設立への意識）と思ったので。

初めてお目にかかった関東の女性部の方たちは皆様とても元気でした。会話が楽しく、充実した内容でとても刺激を受け、その意識の高さを学ぶためにも、愛知県にも女性部を作らなくてはいけないという使命感に駆られました。

私がここに来た理由は、このことだったんだと、大袈裟かも知れませんが雷に打たれたような衝撃を受けました。

入会者は新年交礼会で女性に名刺を配り勧誘をしましたが手応えはありませんでした。その後、事務局で応募の告知をしていただき当初は15名の入会者が集まりました。

中野

会員集めにご苦労されましたが、女性部設立への思いが強かったのですね。

東久保

はい、皆様のご協力と応援のおかげで、令和元年9月に女性部の設立総会を迎えることができ、本当に感無量でした。

中野

女性部立ち上げ後、皆様はどのように活動されましたか？

加藤

何を活動していいのか、1週間に1度くらいのペースで役員の方と会い、事業の内容、方向性などの話し合いを行っていました。

東久保

そうしたら、新型コロナウイルス感染症が流行し

て、対面の事業活動が感染拡大防止のため次々と中止になってしまいました。

社会全体が暗くなってしまった時期ですが、インターネットを活用したWeb会議が着目され、女性部もWebを活用して、少しずつですが事業を再開しました。利点としては、Web会議であれば、対面と異なり職場からでも事業に参加でき、画面を通して初めての方とも、顔合わせをする楽しみがありました。今では、Webを効率的に活用する良い機会だったと言えます。

中野

手探りとはいえコロナ禍にも屈せず、順調に進み良かったですね。

ところで、男性社会の業界で活動するという不安はなかったですか？

永井

私は女性部に参加するまでは、社内での活動のみでした。同業者の方との接点とか、組合の集まりへの参加がゼロだったので、女性部への参加は興味津々で、ようやくちょっと外の方とのつながりが持てるようになりました。

設立年度は一般の会員での参加でしたが、前任の会計の方が退会されましたので、役を引き継ぎました。

初年度の活動の中で役員の皆様がとても仲良く楽しそうで、なんだかキラキラしながら活動されているのを拝見して、そのお手伝いができるんだったらやってみたいというのが本音です。

中野

それは、役員会の雰囲気や溶け込みやすかったのと同時に、やはり東久保会長の思いが伝わったからだと思います。

東久保

そうであれば、うれしいです。

加藤

女性部の会員さんは職業上、境遇、環境が似ていることから悩みも似たところがあります。事業開催の合間のちょっとしたおしゃべりで、共感できることが多々あります。ささいなことですが、話を聞いてもらえるだけでストレスが発散でき、分かっていただけの方がいるっていうだけで安心されます。会

対談

員の中には、そういう場を求めて参加される方もいらっしゃるのでは、と感じました。

東久保

中には、会員になられても立場上の理由から、事業への参加が難しい方もいます。新年交礼会で初めて会った方がいましたが、その折にいろいろお話しができ、次回からは参加をしてくださると元気に帰られました。ただ、参加されない方も多いため、一歩踏み出し参加していただければ、必ず共通の悩みがありますので思いを共有してほしいです。

皆様キラキラして帰っていかれるのは事実です。

加藤

本当ですね。

中野

それは、先ほどの溶け込みやすさというものですか？

東久保

それもありませんが、女性が働くうえでの仕事の悩みは聞かなくても、ただただ大変なのはお互いに分かっています。女性従業員の方、さらに経営者・役員の方が多いので、その環境における葛藤、問題意識の共感が多いです。同じ業界だからこそすぐに心を許せ、苦しみも一緒なので連帯感につながるような気がします。

やはり女性が働いていくのは大変です。

加藤

それも全てひっくるめて稼業を続け、妻であり、女性であり、母であり、今なんておばあちゃんの役もやらなくてははいけません。子育て世代の方は子育てしながら仕事をやっていく。どのように効率よくこなしていけばいいのか、現状を乗り越えるためのヒントになる話を会員同士でできます。

大前提は働く、ということなので、その中でこの業界の女性が集まっているいろんなコミュニティで話をする、活躍の場を広げていける機会としてほしいと思い

ます。

永井

一回参加していただいたり、お会いして話をすると、ちょっと入会してみようかなという声はいただけるので、最初の一歩がなかなか難しいと感じます。

東久保

そのため、女性部員じゃない方も参加できるようオブザーバー参加の事業を開催し、間口を広げる工夫をしています。

また、入会後も会員様の状況により対応もしています。本年の総会時のことですが、出産のため一時休会されていた方が赤ちゃん連れで参加していただき、皆様すごく感激されて、女性部ならではのエピソードです。

中野

いろいろお話しいただきありがとうございます。

実はこの愛知県協会の中に女性部が設立されたことは、とても意義があり、対外的にも信用度が全く違うんですよ。今後その部分について東久保会長はどう

思いますか？

東久保

愛知県協会は永井良一会長をはじめとした理事の方々から、女性部の活動に対してご理解をいただき、頑張ってくださいね、と応援していただいております。

しかし、いま全国での女性部設置に向けて、私たちが勉強しているのはハラスメントなんです。意識の統一を図る上でも、全国の女性部はハラスメントについて一から学んでいます。その学びは私たち女性自身も固定観念を払拭でき、業務に活かせる、社会活動への意義や意識の向上につながります。

愛知県協会では数年前より青年部の事業に参加させていただき、ジェンダーの意識無く、同じ業界内で活動する者同士という感覚で、各部の活性化を



左から 永井会計、加藤副会長、中野副会長、東久保会長

対談

図っています。何より多くの仲間でスポーツをする
と心の底から笑って楽しめます。

中野

本当ですね。

では、女性部の今後に期待すること、提言された
いことについてお話しください。

東久保

いろいろ考えたのですが、提言というより、愛知
県女性部の特化した事業の展開を考えています。

例えば、愛知県が得意とする内容の講演、啓発活
動など、全国的に周知できる特色が持てれば、とい
う内容を構想しています。

加藤

私は女性部をアピールして、業界のイメージアッ
プにつなげていきたいという思いがあります。

女性部に入り業界に早く馴染んでもらえるような
役割を担い、女性が働きやすい業界として社会的に
浸透してほしいと思います。

永井

大きい方向性っていうのは、なかなか思いつかな
いのですが、例えば弊社の事例をあげれば、女性の
就業人数は少ないと感じています。

女性ドライバーを増やしたいと思っていても、社
内で1~2名という状況から、少し寂しさを感じる
かもしれません。

そのような意味合いから、業界の中で同じような
環境の方々のコミュニティの場（女性部が担う）が
あれば、共感できる仲間ができ心強く感じてもらえ
ると思います。

それにより就業の継続につながり、業界全体の活
性化につながると思います。

中野

参加しやすい環境を作っていくことですね。

とても大切なことだと思います。

実は、内閣府男女共同参画局「令和3年度女性
役員への登用に関する課題と取組事例」のメリッ
トに、女性役員がいる企業のパフォーマンスは高い傾
向にある、と記載されています。また、「女性活躍
推進の経営効果について」（平成24年作成）の資料
に、世界では女性役員比率が高い企業の方が、RO

E（Return on Equity：自己資本利益率）、RO S
（Return on Sales：売上高利益率）、RO I C（Return
on Invested Capital：投下資本利益率）などの経営
指標が良い傾向にある、と記載されています。この
ような傾向についてどう思われますか？

東久保

女性役員の登用は良い傾向だと思いますが、日
本では少ないようですね。女性が決まった職種だけ
ではなくて、弊社では、管理職、事務職、現場、と
多くの部署で女性が活躍しています。男性と女性は
ものの捉え方や思考性の違いはあるかもしれませんが、
それぞれの得意分野を生かしていけばと思います。
ただ、現時点において売上の上昇につながって
いるかどうかの検証はしていませんが、弊社の社長
は女性従業員の育成に注力しています。

加藤

弊社の女性の管理職は、男性とは違う目線で仕事
をします。女性は細かすぎるのか、という部分もあり、
それが良いのか、悪いのか、とは思いますが、男性
とは違う目線を生かした働き方ができると思います。

永井

うちの会社は新卒採用をしていますが、来られる
学生さんは、圧倒的に女性の方がしっかりして
います。男性の方は少しおっとりした雰囲気を感じ
る方もいらっしゃいますが、実際入社されて役職に
就いていく方は、圧倒的に男性の方が多いです。

結局それは、会社や組織の中で女性が活躍できる
環境が整備されていないところが大きいのではないかと
思います。

就職後の結婚・育児、親の介護などいろいろな場
面において、女性が一歩引かなくてはいけない場合
が、まだまだ多いのではないかと思います。

それに対して、女性の雇用に対して前向きな取組
や環境整備ができている企業は、女性役員が多い傾
向にあるようで、売上が上がる理論はすごくわかり
ます。そういう場を提供できる組織でありたいと思
います。

中野

女性の社会進出に関してとても参考になるお話し
を聞かせていただき、ありがとうございます。

対談

他には、女性部として運営等に関して気づかれたこと、要望などありますか？愛産協に対してでも結構です。

ちなみに私は、ペーパーレス化を推進しています。

永井

私は事業の開催日を決める際、会議室の予約をWeb予約ができると便利であると思います。

さらに、使用備品の選択や日程変更時等のオプション機能もあれば便利です。そうすれば事務局へ電話をして、事務の方に手間をかけることなく予約ができると思ったことがあります。

中野

それは便利ですね。

今後、女性目線で気づかれた、これまでの盲点を洗い出せればと考えています。

東久保

今のご意見、一度会員の皆様に投げかけてみます。

中野

女性部からの提案で改善され、効率化した事案が多いと、女性ならではの着眼点による業務の改革となります。実績が積み重なることにより、周りから女性部に対する評価の価値がさらに上がっていくと思います。

では、最後に一言ずつお伺いします。

永井

今は東久保会長が引っ張ってくれています。東久保会長の熱量がすごく、気づけば愛知県だけではなく、全国へ、中部四県の会長となられ、益々活動範囲が広がっています。

この先、と言われたとき、活動を引き継いでいけるのかという不安はあります。他の役員の方々と相談しながら、今からでも勉強しながらやっていけば、と思っています。

加藤

業界で就業される女性の悩みや孤独感が少しでも和らぎ、明るい業界を目指し、ホームベースとなる女性部を東久保会長を中心に築いていきます。このような活動を協会内でアピールして、一人でも多くの会員を増やしていくことを、今回は参加されませんが橋本万里子副会長とともに注力します。

東久保

いま振り返ってみますと、女性部の立ち上げは、周りのご支援のおかげもあり、思いの外順調に進みました。その渦中にあったときは、必死な思いで突っ走っておりましたので、今だからこそ冷静にその時の状態を判断できるのかもしれませんがね。

しかし、今は継続していく難しさを実感していますので、組織づくり、後継者の育成、人脈ネットワークの拡大を推進してまいります。

今でも立ち上げ時同様に、熱い思いは変わりません。この先も女性部が存続し、皆様が元気で、この業界に貢献でき、子ども達にすごい！って、思ってもらえるような業界を目指しています。

そしてその子らが、お父さんお母さんの会社を継ぎたい、と言ってもらえるよう、業界が繁栄していくことを願っています。

また、事業開催の時などに、一般の方から産廃業界は男性社会だと思われるようで、女性部の存在に驚かれることがあります。

事業を介しているいろいろな機会に、時代の最先端をいく資源循環業界には、笑顔がキラキラした女性部が活躍していることを知っていただき、なりたい職業ベスト5にランクインできるよう頑張ります！

目標は大きく掲げ、公言することで叶うと信じています！

中野

素晴らしいことだと思います。

東久保

余談ですが、「循環あいち」に女性部事業が掲載されますが、他県の事業に参加した際、「東久保さんですよ？「循環あいち」によくお写真が載っているのわかりました。」と声をかけられます。

その度、愛知県協会女性部の事業を全国で見られていると思うと、充実した事業の開催を心がけなくてはと身が引き締まります。

中野

私も期待して応援します。

元広報編集委員長としての最後の役割が果たせたようでとてもうれしいです。

貴重なご意見を賜り皆様ありがとうございました。

Photograph



令和元年 9月 女性部設立総会



令和2年 9月 中野副会長と女性部の座談会
 「循環あいち」117号掲載



令和3年 12月 フラワーアレンジメント講習会



令和3年 12月 愛知県副知事 青山桂子氏をお招きして
 女性活躍推進セミナーを開催



令和4年 9月 (公財)愛知臨海環境整備センター (ASEC)
 への施設見学会



令和5年 10月 青年部の10月全体会議のドッチビー大会に女性部が参加
 加藤副会長、今津悠見委員、永井会計が大活躍!